

デジタルハリウッド大学

2021年度 一般選抜 A方式

国語 [60分]

【注意事項】

1. 試験監督の指示があるまでは、問題冊子は開かないこと。
2. 試験監督から指示があったら、解答用紙に氏名・受験番号を正確に記入し、受験番号マーク欄にも受験番号を正確にマークすること。
3. 試験開始の合図後、この問題冊子を開き、40ページ(白紙ページ含む)揃っているか確認すること。
4. 乱丁、落丁、印刷不鮮明などがある場合は、手を挙げて試験監督に知らせること。
5. 解答は、すべて別紙の解答用紙の解答欄にマークすること。
6. 試験開始から終了までの間は、試験教室から退出できません。
7. 不正行為を行った場合は、その時点で受験の中止と退室を指示され、同日受験したすべての科目の成績が原則無効となる。
8. 解答用紙は試験終了後、回収される。問題冊子は持ち帰っても良い。

第一問 次の小説の一節を読んで、後の設問に答えなさい。

理奈、薫、祐人、春樹の四人は、小、中学生の頃、町の科学館によく集まっていた。理奈は大学院で宇宙の研究をしていたが、館長が亡くなり科学館が閉館することになったため、科学館に勤める薫の呼びかけで館内圖書の整理を手伝うことになった。

昔から、与えられた謎が嫌いだった。なぞなぞの答えが分からなくてカリカリし、クロスワードが埋まらなくてイライラし、とにかく謎に直面するとそれだけに心を奪われてしまう自分の性分が嫌いだった。嫌よ嫌よも好きのうち、なんてことを春樹に言われたことがあるが、小さい頃からこの性格を自覚している私にとって、これは厄介以外の何物でもない。

その反面、自分が見出した疑問には、ずっと真つ直ぐに向き合ってきたと思っている。宇宙への疑問は尽きることなく、私を学問の世界に誘ってくれた。

とにかく何が言いたいかというと、私は①いつも身の回りのクエスチョンマークに引きずり回されてきたのである。

毎年科学館では夏に催し物が開かれていた。ペットボトルロケット作りや科学実験の実演から、もはや科学と関係ないお化け屋敷まで、館長の言葉を借りるなら、『有意義な夏休み』ではなく、『楽しい夏休み』を送る「ためのイベントを、館長や(注)乃々さん、スタッフさんが企画して行うのが、恒例となっていた。

私たちが中学三年生だった年のイベントのタイトルは「科学館探検隊」、科学館にちりばめられた謎を解いてゴールを目指すというものだった。

科学館の前の看板に、でかでかとそのタイトルが掲げられていた。その文字を読んで②げんなりとする。どうして、私に謎を突きつけ

るのか、何かの嫌がらせなのか。

しかし、薫は「さあ、館長掛かって来い！」とやる気満々でファイティングポーズを取り、春樹も「XがY」と科学館の前で準備運動をしてみせる。祐人はそんな二人を楽しそうに見ているから、私だけ参加しないというわけにはいかなかった。

館内はいつの間にか華やかに、そして怪しげに装飾されていた。黒い布が壁に掛けられ、その上に星座が記されている。いつもは置いていない花瓶や絵も、この日のためだけに飾られていた。こういう物も謎解きの鍵になるのだろうか。私の脳はすでに、自分の意思とは関係なく回転し始めている。

「ふあつはつはつはつ！」

奥から、^⑥胡散臭い笑いの声が響いてきた。そこには、いったい何処で買ったのだというような真っ黒に染められた白衣（黒衣とも言えはいいだろうか）を身に纏った館長がいた。仮にも図書室でそんな大声を出しているのか、と私は不安になる。

「ようこそ、我が^(注2)マッドサイエンティストの研究室へ。私が仕掛けた謎を君たちは解けるかな」

ノリノリである。周りの大人たちからは笑い声が漏れているが、館長は全く気にしていない。

「……館長、見てるこつちが恥ずかしいんだけど」

「こういうのはムードが大切なんだ、探検家諸君」

私の苦情、というか助言には動じず、私たちを先へ進むように促す。

「すでに探検とマッドサイエンスが関係していない」

「主軸がぶれてる」

春樹と薫が厳しい言葉を投げかけている。

一方、既に館長への興味がなくなっている私は、入口で貰ったプリントを見ていた。謎を解く手がかりとして配られたものだ。どうやら一つ謎を解くと次の謎が現れるというラリー形式で作られているらしい。

私たちは、早速館内を回り始めた。『三人寄れば文殊の知恵』という言葉はなかなか的を射ているようだ。ちりばめられた謎はどれも難しかったが、全員で知恵を出し合って、最後の謎までたどり着くことが出来た。

しかし、ここで行き詰まってしまった。

行き詰まった問題は、今でもよく覚えている。場所は休憩スペース、暗号は『北を探せ。ゴールへの光はそこにある』と、たったこれだけだった。

休憩スペースにもいつもと違う装飾がたくさん施されている。机の数は大きく減らされ、南側と北側に一列ずつ並べられているだけだ。南側の机に二つ、北側の机には三つ、カラフルなスタンドグラスのランプが置かれていた。天井から横の壁へと黒い幕が五枚垂らしてあり、空中で^(注3)五芒星を描くようにクロスしている。目の前に広がる奇妙な空間を見て、本当に知らない世界を探検しているように思えた。

薫と祐人は、北だ北だ、と言って愚直に北側を調べ始める。北側の幕や、机の裏、自販機の下……色々と探し回るが、何も見つからない。春樹は疲れたから、と休憩スペースの机に突っ伏して、完全に白旗を上げていた。

私も、もう無理、と投げ出してしまいましたかったが、本能が答えを追い求めているのでそんなことは出来ない。北……N、それとも……。

春樹が突っ伏したまま「これ、どこで買ったんだろ」と無気力な声で言った。春樹の前にはスタンドグラスのランプが置かれている。

ムードを作るための装飾だろうと思っていたが、これに何か意味があるのだろうか。ぼんやりと五つのランプを目で追っていく。私は、まるで星と星を頭の中で繋いでいくように、そのランプを見ていたのだ。

② 急に頭の歯車が回りだした。北、光、星……北極星、ポラリス。ゴールへの光、北への光、ランプ……。

「あっ」

分かった。

みんなが私を見た。「え、何？」と薫が声を上げる。

「これだよ！　これが、ゴールへの光！」

私は、春樹の顔の前にあるランプを指差した。

この配置が、ゴールへの光だったのだ。五つのランプが、カシオペヤ座の形に置かれている。カシオペヤ座は北極星の位置を、すなわち『北』を示している。カシオペヤ座の外側二辺を延ばし、その交点とカシオペヤ座の真ん中の星を結んだ線をさらに延長すると、それがちょうど北極星ポラリスにぶつかるのだ。

同様のことをこの休憩スペースでもしてみる。線を延長すると、ガラスを越え、そして、図書棟の外にある看板へぶつかった。

その看板はプラネタリウムの場所を示した矢印だった。

「おめでとう諸君。それにしてもよく解けたな」

プラネタリウムに着いた私たちを迎えたのは、例の黒衣を着た館長だった。

「あんなの、俺たちには余裕だよ」

③ 「いや、春樹、あんたが言うか」

私は机の上で燃え尽きた春樹を思い出して、苦笑いする。

「結構難しくしたはずだが？」

そう館長が尋ねると、

「四人がいれば、最強なんだ」

薫は腕を組み、まるで館長を挑発するかのように堂々と言った。

「『三人寄れば文殊の知恵』なんだから、四人もいれば最強だ」

春樹も顔色一つ変えずにそう言っただけ。

最強、という響きがえらく気に入ったようで、薫は、最強だ最強だ、と声に出してはしゃいでいる。

「春樹は最後、もう完全に降参してたけど？」

「でも、俺がああのランプのことを言わなかったら、ここまで辿り着けていないかも」

「うーん、まあ、そうか……」

私は少し首を傾げた^{かし}が、祐人と薫の嬉し^{うれ}そうな姿を見ると、そんなこともどうでもよくなった。

そうだ、私たちは最強だ。たとえ春樹が燃え尽きていたとしても、四人じゃなきゃ最強じゃないんだ。なんだか嬉しくなったのを覚えている。

ポーン、と壁掛け時計の鳴る音が聞こえた。時計を見ると、針は七時を指している。整理作業を続けていると、あつという間に時間は過ぎていた。沈みかけの太陽から弱々しい西日が差し、図書室の奥の本棚を照らす。薄暗闇の中、無数の本の背表紙が淡い^{だいたい}橙に輝いている。

「あー、もうこんな時間」

時計の音を聞き、薫は大きく伸びをする。ちょうど集中力も切れてくる時間なのか、みんなが作業の手を止め、体を伸ばした。私も腰を反らし、くうつ、と声を上げる。

「一つの作業に没頭していると、時間が過ぎるのがあつという間ね」

乃々さんが笑った。

「でも、今日はすごい整理がはかどりましたよ。理奈も手伝ってくれるし、このペースでいけば、余裕をもって図書ひきつの引継ぎが出来そうです」

「あら、みんなのお陰ね」

乃々さんに褒めてもらえるのは、いくつになっても嬉しいものだ。えへへ、と笑う。

「あー、腹減った」

⑥ **覇気**のない声が聞こえてきたので目を向けると、直哉君なおやがカウンターにもたれてぐったりとしている。

「今日は、この辺りで終わりにしましょうか」

乃々さんの意見に一同が賛成して、私たちは資料や荷物をまとめはじめた。

片付けには意外と時間がかかり、私がカウンターに残っていた本を本棚にしまい終わる頃には、外もすっかり暗くなっていた。そのとき、コンコンとガラスをノックする音が聞こえた。少し驚き、辺りを見渡す。まだノックは続いていて、どうやら休憩スペースの方から聞こえてきているようだ。一体こんな時間に誰だろうか。

「誰、かな？」

近くで作業をしていた薫も首を傾げて言うので、

「……見に行ってみようか」

と、二人で休憩スペースへと向かう。

図書室を出ると、休憩スペースは暗闇に包まれていた。照明は全くついておらず、自販機の白い光がぼうつと辺りを照らしているだけだ。とにかく暗く、ガラス張りの室内からも、外の様子は窺えない。

「私、電気つけてくるね」

④、薫は壁に近づいていく。手探りでスイッチを探しているようだ。私が不安になっている中、ぱっと明かりがついた。

私が急な明かりに目を細めながらも外を見ると、北側に男が立っていることに気付く。スーツ姿のその男は、突然の光にうろたえていた。正直なところ、ものすごく間抜けに見えた。

「あれ」

私が声を上げて指差すと、薫もその方向を見た。

「あれってさ……」

しばらくして、薫が呟くので、

「祐人、だよね」

私もそう続けて、二人で顔を見合わせる。

どうやら、向こうもこちらに気付いたようで、懸命に手を振っている。暗闇に

⑤

立つ祐人は、変質者というには滑稽過ぎた。

「馬鹿丸出しというか、なんというか」

「はあ、私、迎えに行ってくる」

薫は溜息をつき、図書棟の裏口へと向かって行った。

薫に案内されて、祐人も図書室に入ってきた。辺りを⑥見渡すのは、私と同じように、ここが随分と懐かしく感じられたからだろう。

「この人は？」

直哉君が首を傾げる。

「あ、薫と理奈の幼馴染で、神庭祐人っています。……君は？」

「俺は館長の孫の直哉です。……祐人さんって、薫さんによく振り回されてた、あの祐人さんですよ。よく思い出話に登場するんですけど」

「お前……どんな話したんだよ」

「うーん、秘密」

そう言って、薫が受付のカウンターにもたれて尋ねる。

「それで、こんな時間にどうしたの？」

「今日、本の整理してるって言ってたから、まだ作業中かなって思ってたんだけど……」

「今日はちょうど終わっちゃったわね」

奥で片付けをしていた乃々さんが、カウンターへとやって来る。「久しぶり」そう言って、にかっと笑った。

「そう、ですね」

祐人が頭を搔く。そういえば、祐人が乃々さんと話すのも久しぶりのはずだ。

「祐人君も、大きくなったわね」

「そんなことないですよ」

「昔はこんなに小さかった」

乃々さんは親指と人差し指で、数センチの隙間を作ってみせた。

「さすがにもうちよつと大きいですよ」

「あら、そうだったかしら？」

「相変わらずとぼけるのが上手なんだから」

祐人が呆れたように言うと、乃々さんは「褒められちゃった」とおどけてみせる。

私は、それを見ていて、無性に懐かしくなった。この科学館は、昔と何も変わらない。 私たちに寛容で、のんびりとしていて、何も責められることはなくて、どこまでも心地いい場所だった。

(あおばゆう青羽悠『星に願いを、そして手を。』より)

(注1) 乃々さん —— 館長夫人。

(注2) マッドサイエンティスト —— SF作品などに登場する、天才的だが常軌を逸した科学者。

(注3) 五芒星 —— 一筆書きで中心に五角形が現れる星のマーク。

問 1 傍線部①の本文中における意味として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

① げんなりとする

- ア がっかりする
イ 心を痛める
ウ うんざりする
エ 元気になる
オ 根負けする

問 2 傍線部②の本文中における意味として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

② 胡散臭い

- ア ぎこちない
イ 不自然な
ウ わざとらしい
エ 芝居がかった
オ 怪しげな

問3 傍線部㉔の本文中における意味として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

㉔ 覇気のない

- ア やる気を感じられない
イ 野心を持ち合わせない
ウ 興味がなさそう
エ 気楽な感じの
オ 遠慮のない

問4 傍線部①「いつも身の回りのクエスチョンマークに引きずり回されてきた」とあるが、どういうことか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 嫌々ながらも、自分が見出した疑問につねに真つ直ぐに向き合ってきたおかげで、宇宙への疑問は尽きることなく湧き上がり、現在の大学院での学問に到達することができたということ。

イ 謎を与えられることが嫌いだと思っていたが、春樹に指摘されて、自分は謎を解明することが好きで、謎を解くということにまるであそばれているようだと思いが付いたということ。

ウ いつも何か謎や疑問を見つけては、カリカリ、イライラとしながらも解決するのを楽しんでいたつもりだったが、本当は宇宙に満ちている謎に翻弄されるのが好きだったのだということ。

エ 謎が解けないとイライラするくせに、謎が目の前にあるときは解かないと気がすまない自分の性分を持って余しながらも、その謎を解くことに挑戦しないではいらなかったということ。

オ 謎解きの場に直面すると、そのことに心を奪われて他のことが手につかなくなってしまう性分のため、謎解きが嫌いにもかかわらず、なぜか謎を解く機会にばかり遭遇してきたということ。

問5 空欄 X Y に入る語句の組み合わせとして適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア	X	骨	Y	折れる
イ	X	耳	Y	痛い
ウ	X	鼻	Y	高い
エ	X	腕	Y	鳴る
オ	X	足	Y	重い

問 6 傍線部②「急に頭の歯車が回りだした。」とあるが、どのような様子を表しているか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 五つのランプの光を見ながら思考を深めていくうちに暗号の意味が理解でき、謎の答えに到達できた様子。
- イ ランプがカシオペア座の形に置かれていることに気づき、パズルの最後のピースがはまり答えが完成した様子。
- ウ 五つのランプを目で追ううちにひらめきを得て、ランプの配置と暗号の言葉との繋がりを解明し始めた様子。
- エ 五芒星を描くようにクロスする光が星と星を繋いでいることが不意に分かり、謎の答えに納得できた様子。
- オ ランプが「ゴールへの光」を意味していることが理解でき、その仮説が正しいかどうかを吟味している様子。

問7 傍線部③「いや、春樹、あんたが言うか」とあるが、このときの「私」の心情の説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア いくら調べても最後の謎が解けず、手がかりを探すことに疲れて早々に休憩していたことを忘れている春樹に驚いている。
- イ みんなが暗号をもとに愚直に北側を調べ回っているというのに、完全にふてくされていた春樹に頼りなさを感じている。
- ウ 謎はどれも難しく、ゴールするまでに春樹もかなり苦労していたのに、余裕の態度を見せていることに戸惑っている。
- エ 投げ出したい気持ちを抑えて答えに辿り着いたことに安堵あんどするとともに、完全に諦めていた春樹の自慢げな様子にあきれている。
- オ ランプについての自分の言葉が突破口になったと、誇らしそうに語る春樹の天真爛漫てんしんらんまんで前向きな姿勢を好ましく思っている。

問 8 空欄 ④ ・ ⑤ ・ ⑥ に入る語句の組み合わせとして適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|---------|
| ア | ④ | こわごと | ⑤ | ぼおつと | ⑥ | ぎよろぎよると |
| イ | ④ | すたすたと | ⑤ | さっそうと | ⑥ | じつくり |
| ウ | ④ | 恐る恐る | ⑤ | ぽつんと | ⑥ | きよろきよると |
| エ | ④ | さっそうと | ⑤ | 静かに | ⑥ | 恐る恐る |
| オ | ④ | ゆつくりと | ⑤ | そわそわと | ⑥ | じろじろ |

問9 傍線部⑦「この科学館は、昔と何も変わらない。」とあるが、このときの「私」の様子の説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 乃々さんの「昔はこんなに小さかった」という言葉に、自分たちが小さい頃、よくこの科学館に集まっては、さまざまなイベントを体験し楽しく過ごしたことを思い出し、あらためて懐かしく幸せな気持ちに浸っている様子。

イ 時間の経過を感じさせない乃々さんと祐人のやり取りに、小、中学生の頃、とにかく楽しく温かい場所であったこの科学館での出来事を思い出し、もう一度その頃に戻りたいような懐かしい気持ちがあふれ出てきている様子。

ウ 乃々さんに褒められて嬉しくなったり、おどける乃々さんを見たりしたことで、寛容でのんびりとした雰囲気なたたえる科学館が、厄介な性分に悩んでいた自分を救ってくれていたことに思い至り、感謝の気持ちを抱いている様子。

エ 四人はそれぞれの道へと進み、別々の人生を送っているが、科学館だけは昔とちつとも変わらない心地よさを持ち続けていることを実感し、その場所までがなくなってしまうことに、切なさや寂しさがこみあげている様子。

オ 祐人と乃々さんのやり取りを見ているうちに、亡くなった館長や乃々さん、スタッフさんに至るまで、自分たちに優しく接してくれていたことに気付き、思わず現在の自分が抱えている苦しさや孤独感と比べている様子。

問 10 本文の表現についての説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 「どうして、私に謎を突きつけるのか、何かの嫌がらせなのか。」「私だけ参加しないというわけにはいかなかった」などの描写には、謎が解けないことを恐れる気持ちを抑え込んで参加している主人公の心理が巧みに表現されている。

イ 「嫌よ嫌よも好きのうち、なんてことを春樹に言われたことがある」「私も、もう無理、と投げ出してしまったかった」のように、心内語にかぎ括弧をつけずに表現することで人物の心内語と実際の会話とを区別している。

ウ 力を合わせて謎を解き、「四人がいれば、最強なんだ」と四人の仲の良さを強調する前半部分と、スーツ姿の祐人が登場する後半部分との対比によって、大人になって距離が生まれている現状が暗示されている。

エ 「春樹の前にはスタンドグラスのランプが置かれている。」「『え、何？』と薫が声を上げる。」のように、回想で語られる中に現在形の表現を挿入することで、最後の謎解きに成功する場面に臨場感が生まれている。

オ イベント時に着用している衣服や、「ふあっはっはっはっ！」という笑い声を描写することによって、子どもたちに楽しみながら科学を学んでほしいと願う館長の人物像が浮かび上がるように工夫されている。

第二問 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。なお本文上には設問の都合で段落番号 1 ～ 16 を付してある。

1 関連性理論が解こうとしていることは、受話者は、どのようにして発話の意味を解釈するのか、である。発話された文の意味は、コード（辞書と文法規則）を用いた記号の解読によって確定することができる（とする）。しかし、その文の意味と矛盾しない、発話の解釈は、たくさんある。つまり、発話者がある文を発したとして、彼または彼女は、その発話によって何を意味しているのか、ということについての解釈の候補はひとつではない。受話者は、どのようにして一つの解釈を選んでいるのか。受話者には、発話の意味の解釈（の候補）を評価し、不適切なものを排除するためのひとつの基準があるはずだ。その基準は何か。これが、関連性理論の問いである。

2 この理論は、人間の認知についての、次のような前提からスタートする。すなわち、人間には、関連性 *relevance* のある情報に注意を払い、それらが最も高い関連性をうむように処理する傾向がある、と。つまり、「①」（認知的関連性の原理）ということが、この理論の大前提である。

3 関連性とは何か。関連性は、コンテキストにおいて定義される。コンテキストとは、情報を解釈（処理）するにあたって想定されていることがらの集合である。ある情報が関連性をもつとは、その情報がコンテキストにおいて認知効果 *cognitive effect* をもつことだ。認知効果とは、次の三つのいずれかだ。第一に、不確実なコンテキスト的な想定を確定化すること。第二に、コンテキスト的想定（の一部）と矛盾し、誤った想定を放棄すること。第三に、コンテキスト的想定と結びついて、（コンテキストのみからでは得られない）新情報を論理的に導き出すこと（これを「コンテキスト的含意」と呼ぶ）。

4 ^②たとえば、今、あなたは、新宿で開催される講座に出席しようとして、駅の構内を歩いているとしよう。このときコンテキストとして想定されていることは、(a)「おそらく次の列車に乗れるだろう」、(b)「もしその列車に乗ることができれば、講座の開始時刻に間に合う」、

(c) 「もし列車に乗り遅れたら、講座の開始に間に合わない」、という三つの情報だ。あなたがホームに着いたとき、ちょうど列車が入ってきた。このとき、新情報は、(d) 「次の列車に乗ることができる」というものだ。(d)が-(a) (b) (c)のコンテキストで処理されると、二種類の認知効果が得られる。(d)の情報は、(a)の想定を確定化すると同時に、(b)の想定と結合して、(e) 「講座の開始に間に合う」というコンテキスト的含意を引き出すことになる。このような意味で、(d)は関連性がある情報だったと言える。

5 認知効果が大きいほど、関連性も大きい。と同時に情報処理のコストが大きすぎてもならない。認知効果がある情報を引き出すのに、あまりにめんどろで複雑な推論を強いるものは受け入れられない。つまり、情報処理のコストが低いほど、関連性は増す。関連性は、認知効果が大きいほど、そして情報処理コストが小さいほど、増大することになる。

6 さて、この認知的関連性の原理は、コミュニケーションの場面であるか否かとは関係がない、認知の一般についての原理である。この原理を前提にした上で、もうひとつの原理が付け加えられる。そのもうひとつの原理が、コミュニケーションに関わっている。その原理、伝達関連性の原理とは、「発話は一般に、受話者の側に、関連性についての想定を生み出す」というものだ。ある発話がなされたとする。その発話の解釈、その発話が結局何を意味しているのか、発話者は何を言いたいかという解釈は、たくさんある。受話者は、どの解釈を採用するのか。発話は、自動的に「関連性についての想定」あるいは「関連性についての期待」を生み出している。そうした想定や期待を最もよく満たしてくれる解釈が、受話者によって選ばれる。これが、伝達関連性の原理である。

7 だが、どのくらい関連性があればよいのか。もちろん、最大の関連性、関連性の最大値である……としたいところだが、その要求が高すぎることは明らかだ。発話者の方に、情報を伝えるだけの能力がなかったり、発話者が、何らかの理由によって、最大の関連性をもつ情報を与えたくないと思ったりするケースもあるからだ。学生が教師に、明日の試験について質問しても、その答えとして、最大の関連性をもつ情報（出題される問題は何か）は得られない。そこで、スペルベルとウィルソンは、「最適の関連性」という概念を案出し

た。それは、次のような趣旨である。受話者は、発話について、受話者（である自分）が少なくとも処理するに値するだけの関連性をもつはずだと想定し、かつ、その発話は、発話者の能力と選択が許す範囲内では最大であるだろうという期待をもつ。

8 教科書にもあるような簡単な具体例で解説しよう。今、客や店員がたくさんいる百貨店のあるフロアに、守衛が駆け込んできた。「建物が火事です『The building's on fire!』と大声で言ったとする。これを聞いた者は、この発話をどう解釈するだろうか。「建物 the building」は、どの建物を指すのか。その解釈は無限である。が、百貨店内の人々は間違いなく、この語の指示対象は、彼らがいるその百貨店の建物であると解釈するだろう。そう解釈することが、彼らにとって関連性が最も高い——何しろ生死すら左右しかねない——からだ。

9 以上が、関連性理論の基本的な構造である。ここから、さらに興味深い応用や発展が可能になる。たとえば、「最適関連性」についての想定・期待から考えて、一般に、受話者が最初に思いつく解釈、つまり最も処理コストの低い解釈が、最終的に正しい解釈でもあると、普通は考えてよい。今引いた、百貨店の例でも、守衛の叫びを聞いた者は、あれこれ検討した上で最後に、『建物』とはこの百貨店の建物を指している」という結論に至るのではなく、すぐに、この結論に飛びつくだろう。しかし、ときに、関連性のある解釈に至るまでに、^④余分な処理を必要とする発話がある。隠喩などがそうである。「ジョンはロバだ」という発話は、「ジョンは間抜けだ」ということを伝達しようとしている。そうだとすると、どうして、処理コストがより小さくてすむ後者が直接言われず、「ロバ云々」という前者が発せられたのか。余分な処理コストは、付加的な認知効果によってホ^⑤シヨウされる。「ロバ」に喩^{たと}えることは、「間抜けさ」について独特の含みを加えることになる。

10 以上に概説したように、関連性理論は、まったく生まじめな説で、これといった大きなケツ^⑥カンはないように見える。これに細かな修正を加えていけば、発話の理解のメカニズムについて、正確な説明が得られるだろう。そのような見通しをもちたくなる。

11 しかし、この理論には、大きな穴がある。つまり、^⑤説明が欠けている重要な前提があるのだ。どこに？ 最も肝心な伝達関連性の

原理に、である。この原理は、発話が、あるいは伝達的な意図が明示されているあらゆる行動（「ケンジ的刺激」と呼ぶ）が、それらがコンテキストにおいて最適な関連性をもつとの想定を受話者の側に生み出す、としている。だが、どうしてそのようなことが可能なか？ つまり、発話に、どうして、関連性についての想定を生み出す力が宿っているのか？ この点が説明されていない。

[12] 関連性は、コンテキストとの相関でしか生じない。それぞれのコンテキストにおいて、認知効果をもつ情報が、関連性をもつ、とされるのだ。したがって、関連性についての想定を相手に与えるということは、コンテキスト（となる前提的な想定）もまた規定している、ということである。発話は、同時に、その発話がその中で関連性をもつことになるコンテキスト自体を生み出し、定義していることになる。だが、なぜ、いかにして、そんなことが可能なのか？ それは説明されなくてはならない。

[13] これは、人工知能の分野で、「フレーム問題」と呼ばれている難問と関係している。フレーム問題とは、その都度、適切なコンテキストを枠付け、関連性のある情報をいかにして選び出すか、という課題である。人工知能が解決すべき主題領域がはっきりと限定されていけば、フレーム問題は生じない。たとえば、その人工知能がなすべきことが、「将棋を指すこと」だけであれば、フレーム問題はない。人工知能は、「次の一手」を決定するために必要な情報をできるだけたくさん検討すればよいだけだ。

[14] しかし、人間は違う。将棋も指すが、デパートで買い物もするし、家族と食事もするし、仕事の打ち合わせもする。人工知能に、人間の知能に相当する汎用性を与えようとすると、たちどころに困難が生ずる。フレーム問題を解決できないからである。「建物が火事です」という発話を解釈しようとすると、汎用性のある人工知能は、たとえば、「建物」なるものが一般に火事である、と解釈する。もちろん、はじめから、この百貨店のことしか知らない人工知能、火事なのかそうでないのかを判別する機能だけをもつ人工知能を作るのであれば、たやすいことだ。しかし、人間は、他の建物のことも知っているし、火事か否かということ以外にも、無数のことに関心をもっている。それなのに、「建物が火事です」という発話を受け取ると、たちどころに「この建物」であると特定し、他のことには目もくれ

ず逃げることを考える。

15 どうして人間にはそんなことができるのか？ その認知のメカニズムはよくわかっていない。だから、人工知能の上にそれを実現することもできない。

16 伝達関連性の原理は、フレーム問題の解決を、発話にすべて委託しているようなものだ。発話に、フレーム問題を解消してしまう、魔術的な力が宿っているかのように、である。なるほど、実際にそうなのかもしれない。発話には、そのようなふしぎな作用があるのかもしれない。しかし、それは、理論が前提にしてよいことではない。まさに、そのことこそが、説明されるべきことではあるまいか。

(大澤真幸『コミュニケーション』より)

問 11 傍線部②に相当する漢字を含むものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ② ホシヨウ
- | | |
|---|---------------|
| ア | 確かなシヨウコを探す |
| イ | シヨウガイブツを撤去する |
| ウ | 両親と意見がシヨウトツする |
| エ | 損害をバイシヨウする |
| オ | 事件のシヨウサイを調べる |

問 12 傍線部⑥に相当する漢字を含むものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

⑥ ケツカン

- ア カンブに処方された薬を塗る
- イ 不景気で店にカンコ鳥が鳴いている
- ウ 難攻不落の要塞がカンラクした
- エ 発表に対してイカンの意を表明する
- オ 夜を徹してトツカン作業を行う

問 13 傍線部⑦に相当する漢字を含むものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

⑦ ケンジ的

- ア ケンチョな傾向が見られる
- イ 発展にコウケンした人物
- ウ センケン隊を送り出す
- エ ケンジツな方法を選ぶ
- オ 会社の未来をソウケンに担う

問 14 空欄 ① に入る表現として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 人間の認知は、無意識的に関連性を単純化して把握する
- イ 人間は、発話の意味を自分に都合よく解釈する傾向がある
- ウ 人間の認知は、関連性を最大化するように働く性質をもつ
- エ 人間は、合理的判断に基づいて不適切な解釈を排除する
- オ 人間の認知は、できるだけ少ない労力で関連性を理解する

問 15 傍線部②「たとえば」とあるが、この後に続く具体例についての説明として**適当でない**ものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 列車が入ってくるのを見たとき、(d)「次の列車に乗ることができる」という新情報により、(a)「おそらく次の列車に乗れるだろう」という想定が確定化する。
- イ 列車が入ってくるのを見たとき、(d)「次の列車に乗ることができる」という情報により、(c)「もし列車に乗り遅れたら、講座の開始に間に合わない」という想定が新情報として確定化される。
- ウ 列車が入ってくるのを見たとき、(b)「もしその列車に乗ることができれば、講座の開始時刻に間に合う」という想定と結合して、(e)「講座の開始に間に合う」という想定が導かれる。
- エ 列車が入ってくるのを見たとき、(c)「もし列車に乗り遅れたら、講座の開始に間に合わない」という想定は、(d)「次の列車に乗ることができる」という情報に矛盾するとして放棄される。
- オ 列車が入ってくるのを見たとき、(d)「次の列車に乗ることができる」という新情報は、(e)「講座の開始に間に合う」というコンテクスト的含意を引き出す。

問 16 傍線部③「そのもうひとつの原理が、コミュニケーションに関わっている。」とあるが、「もうひとつの原理」とはどのような原理か。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 受話者は、発話の解釈においても、複雑な推論を必要とせず、情報処理コストが最も低い解釈を正しい解釈と判断するという原理。
- イ 発話の意味には複数の解釈が存在するが、受話者は自分自身の要望と完全に一致する解釈だけを無意識に選択するという原理。
- ウ 発話された文の意味は、語句の辞書的な意味や文法規則の解読よりも、受話者独自の解釈が優先されて決定されるという原理。
- エ 受話者は、発話者の能力と選択が許す範囲内で最大の、処理するに値する情報が示されると想定して発話を解釈するという原理。
- オ 受話者は発話の意味についてあれこれ時間をかけて検討するのではなく、自分にとって最も関連性が高い解釈に飛びつくという原理。

問17 傍線部④「余分な処理を必要とする発話」とあるが、その例として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 現在の状況とは関連性のない話題。

イ 受話者にとって全く想定外の内容。

ウ 遠回しな表現で相手を批判する皮肉。

エ 発話者の悪意がこもった一方的な非難。

オ 受話者が知る事実と異なる虚偽の情報。

問 18 傍線部⑤「説明が欠けている重要な前提がある」とあるが、それはどういうことか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 伝達関連性の原理は、受話者がなぜ発話とコンテキストを結び付け、伝達的な意図をもつ発話から関連性のある情報を選び出すかを説明していないということ。

イ 伝達関連性の原理は、発話が関連性をもつコンテキストとなる前提的な想定を規定し、関連性についての想定を相手に与えることができる理由を説明していないということ。

ウ 伝達関連性の原理は、発話者が伝えたい情報のすべてを言語化するわけではなく、受話者も発話者の意図を的確に受け取るとは限らないことを説明していないということ。

エ 伝達関連性の原理は、発話者が最大の関連性をもつ情報を与えていないときでも、受話者が推論によって正しい解釈にたどりつくことができる点を説明していないということ。

オ 伝達関連性の原理は、関連性がコンテキストとの相関で生じるにもかかわらず、発話がコンテキストを生み出しているという矛盾について説明していないということ。

問 19 傍線部⑥「人工知能の上にそれを実現することもできない」とあるが、それはどういうことか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 人間は、家庭、社会、職場などのあらゆる場面できざまなことを学ぶが、人間の学習のメカニズムを再現することは難しいため、人間と同等の汎用的な知性を人工知能に付与することはできないということ。

イ 人間は、受け取った発話を適切なコンテキストと紐づけて関連性のある情報を選び出すが、人工知能にインプットされている情報は限られており、それ以外の情報を選ぶことができないということ。

ウ 人間は、いま重要な情報と無視してもよい情報を選別して行動するが、その仕組みは解明されていないため、人工知能に無数の事象から必要な情報のみを選別させることはできていないということ。

エ 人間は汎用性のある知能を有しているが、人工知能は限定的な主題領域における知能でしかないため、解決すべき主題領域を限定しない限り、現実に取り得る無数の問題に対処できないということ。

オ 人間は、複数の解釈が存在するコンテキストの中で生活しているが、人工知能にはコンテキストという概念をもたせることが不可能なため、与えられた情報から必要な情報を選別することができないということ。

問 20 本文を五つの意味段落に分けたとき、その分け方として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

オ	エ	ウ	イ	ア
1	1	1	1	1
ス	ス	・	・	／
5	5	2	2	2
／	／	／	／	ス
6	6	3	3	5
・	ス	ス	／	／
7	8	5	4	6
／	／	／	ス	ス
8	9	6	9	8
／	・	ス	／	／
9	10	8	10	9
／	／	／	ス	／
10	11	9	12	10
ス	・	ス	／	ス
16	12	12	13	16
	／	／	ス	
	13	13	16	
	ス	ス		
	16	16		

第三問 次の設問に答えなさい。

問21 次の四字熟語を用いる正しい状況はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

閑話休題

ア 話題を変える状況。

イ 余談をさしはさむ状況。

ウ 無駄話をやめて沈黙する状況。

エ 話の合間に休憩する状況。

オ 横道にそれた話を本題に戻す状況。

問 22 次の故事成語の正しい意味はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

君子は豹変す
ひょうへん

- ア 立派だと思われていた人が、突然人が変わったように粗野になること。
- イ 立派な人は自らの過ちを認めれば即座に改めるものだということ。
- ウ 立場のある人間の行動に感化されて、周囲も自然と変わっていくこと。
- エ 立場のある人間であるにもかかわらず、他人の忠告を一切聞き入れないこと。
- オ 人格者だと思われていた人が、ふとした拍子に本性を現すこと。

問23 次の語句の正しい意味はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

シンギュラリティ

- ア 人工知能が人類の知能を凌駕りようがすること、人間の生活に大きな変化が起こる特異点。
- イ 人工知能の誤った活用により、人間の生命や生活が脅かされるようになる危険性。
- ウ 人工知能が人間の役割を代替できるようになり、人間の仕事が奪われる可能性。
- エ 人工知能の研究が行きづまり、それ以上の進歩を見込めなくなるという限界点。
- オ 人工知能が言語や概念を理解し、人間と自然な会話ができるようになる転換点。

問 24 次の文の傍線部の語句の正しい意味はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

気候変動や資源の枯渇などの問題が深刻になったことをきっかけに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが世界で広がりつつある。

- ア 現在のシステムやプロセスを継続しながら、人間の文明的な生活を、将来にわたって維持することが可能な社会。
- イ 現在生きている世代は、未来の世代の生存持続可能性に対して責任を負い、行動を厳しく制限するべきと考える社会。
- ウ 天然資源の消費を抑制するために、廃棄物等を再資源化して循環させ、有限な資源を効率的に活用する社会。
- エ 現在の世代が必要とするものを損なうことなく、未来の世代が不利益を被らないよう地球の環境保全に配慮した社会。
- オ テクノロジーによって自然を支配してきた歴史を反省し、経済活動やライフスタイルの変革を目指す社会。

問25 次の文の空欄に当てはまる語を、ア～オの中から選んで答えなさい。

天動説に代わる地動説の登場、ニュートン物理学を乗り越えるアインシュタインの相対性理論の登場のように、科学を取り扱ううえでの思考の枠組みが根底から急激に転換する が、科学の歴史を作ってきたといえる。

- ア ポストモダニズム
- イ ダイバーシティ
- ウ パラダイムシフト
- エ ビッグデータ
- オ モラルハザード

